

連結決算補足説明資料

2021 年 3 月期 第 2 四半期

(2020 年 4 月 1 日～2020 年 9 月 30 日)

2020 年 10 月 29 日

(証券コード：9640)

株式会社 セゾン情報システムズ

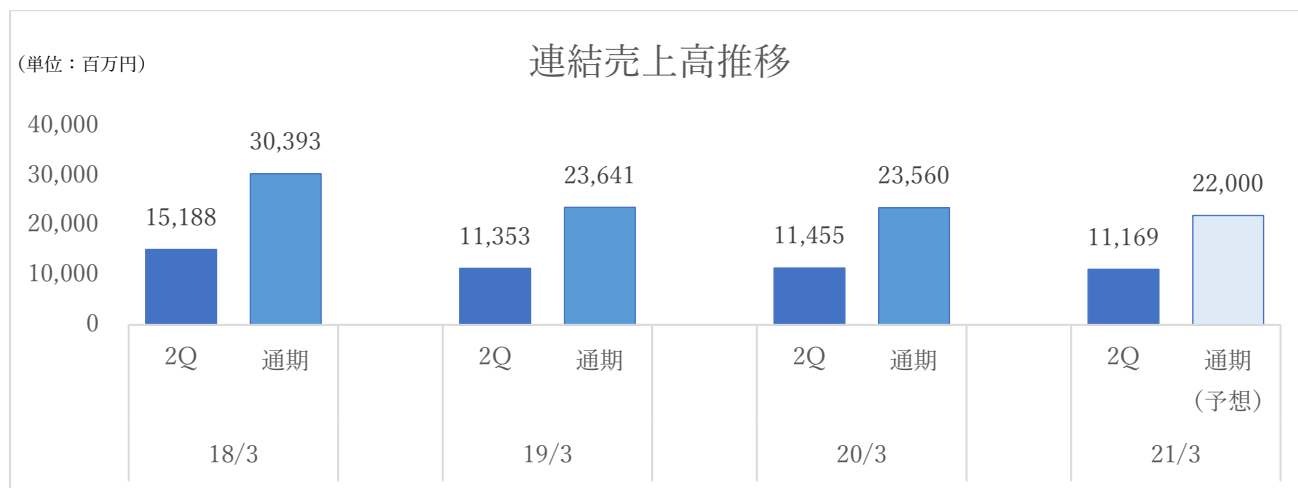
目次

1. 連結売上高・連結営業利益推移
2. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② リンケージ事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
3. 新技術・新領域進捗状況
4. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益推移

■連結売上高



<当第2四半期連結累計期間>

当連結会計年度は、現中期経営計画の最終年度として、新たな事業領域のさらなる拡大に向けた取組みを継続しております。当第2四半期連結累計期間においては、通期計画値（22,000 百万円）に対して進捗率 50.8%となり計画どおりに推移しました。

<2020 年 3 月期（通期）>

- Fintech プラットフォーム事業の既存領域におけるシステム開発案件が減少する（前年同期比 1,397 百万円減）も、HULFT 事業ライセンス販売好調（前年同期比 917 百万円増）
- リンケージビジネスが事業の柱に成長
- 子会社株式会社アプレッソを 2019 年 4 月 1 日付で吸収合併（⇒適時開示、2019 年 1 月 30 日）

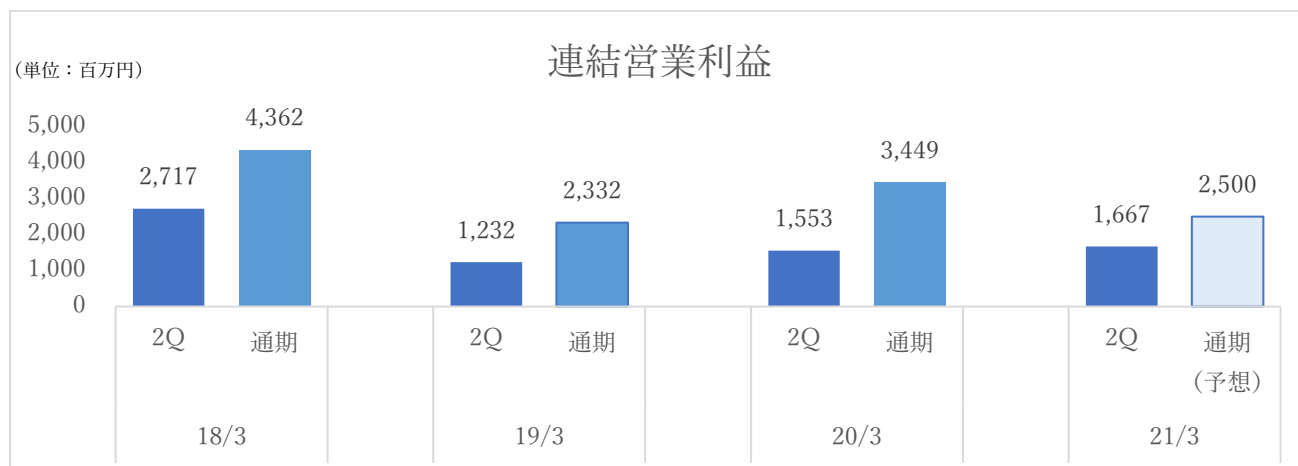
<2019 年 3 月期（通期）>

- 新技術・新領域へ事業展開の取組みを強化
- 流通 IT サービス事業においてデータ連携サービスが順調に増加（前年同期比 45 百万円増）
- HULFT 事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調で過去最高売上高を達成（前年同期比 321 百万円増）

<2018 年 3 月期（通期）>

- 大型システム開発完了・稼働しカードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上高に大きく貢献（前年同期比 774 百万円増）
- HULFT 事業ライセンス/サービス、サポート売上好調（前年同期比 258 百万円増）
- 子会社株式会社フェスを 2018 年 1 月に事業譲渡（⇒適時開示、2017 年 11 月 29 日）

■連結営業利益



<当第2四半期連結累計期間>

売上高と同様に通期計画値（2,500 百万円）に対して進捗率 66.7%となり順調に推移しています。

<2020 年 3 月期（通期）>

- 売上高が前年並みであった一方で、営業利益は増加（前年同期比 1,116 百万円増）
- 流通 IT サービス事業において、既存領域の消費税増税対応案件が一時的に増加したこと等による利益増加（前年同期比 262 百万円）
- HULFT 事業においてライセンス販売が好調であったことに伴い利益増加（前年同期比 798 百万円増）

<2019 年 3 月期（通期）>

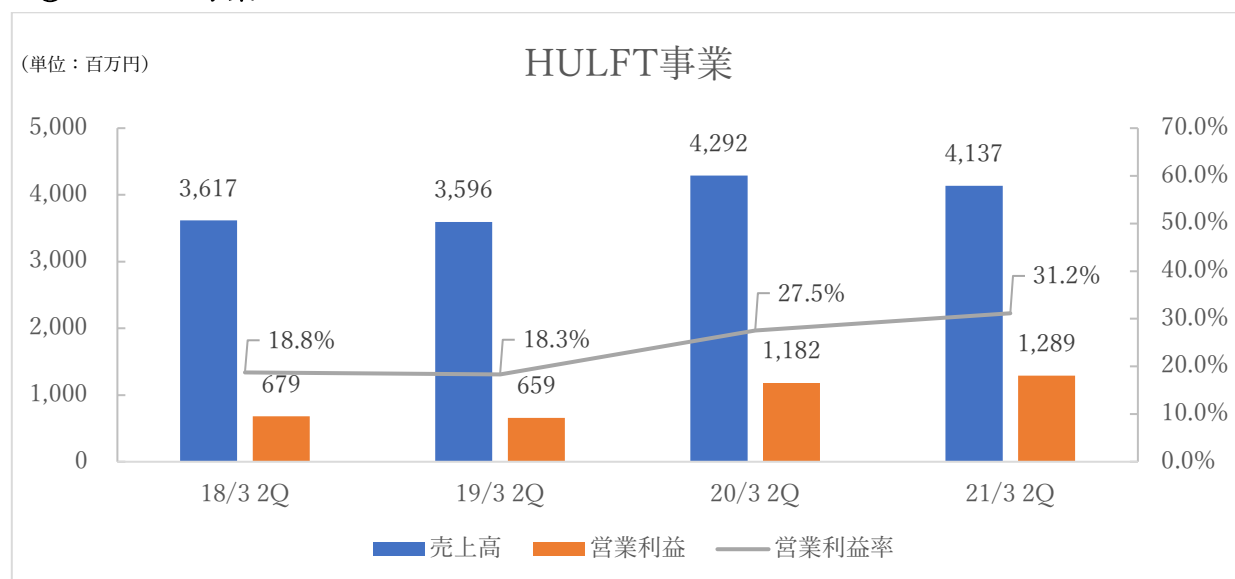
- 売上高同様、前連結会計年度に大型システム開発案件が完了したことによる利益減少したものの計画値は達成
- HULFT 事業においてライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調であったことに伴い利益増加（前年同期比 426 百万円増）

<2018 年 3 月期（通期）>

- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上増加及び新旧システム並行稼働による一時的な収益性向上による利益増加（前年同期比 1,170 百万円増）
- 流通・IT ソリューション事業（現 流通 IT サービス事業）において前期計上の解約損失引当金の影響により利益増加（前年同期比 859 百万円増）

2. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



当第2四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第2四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のライセンス販売が大幅に増加したこと、クラウド型のサブスクリプションサービスやサポートサービスが拡大したことにより売上高増加（前年同期比 696 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 522 百万円増）

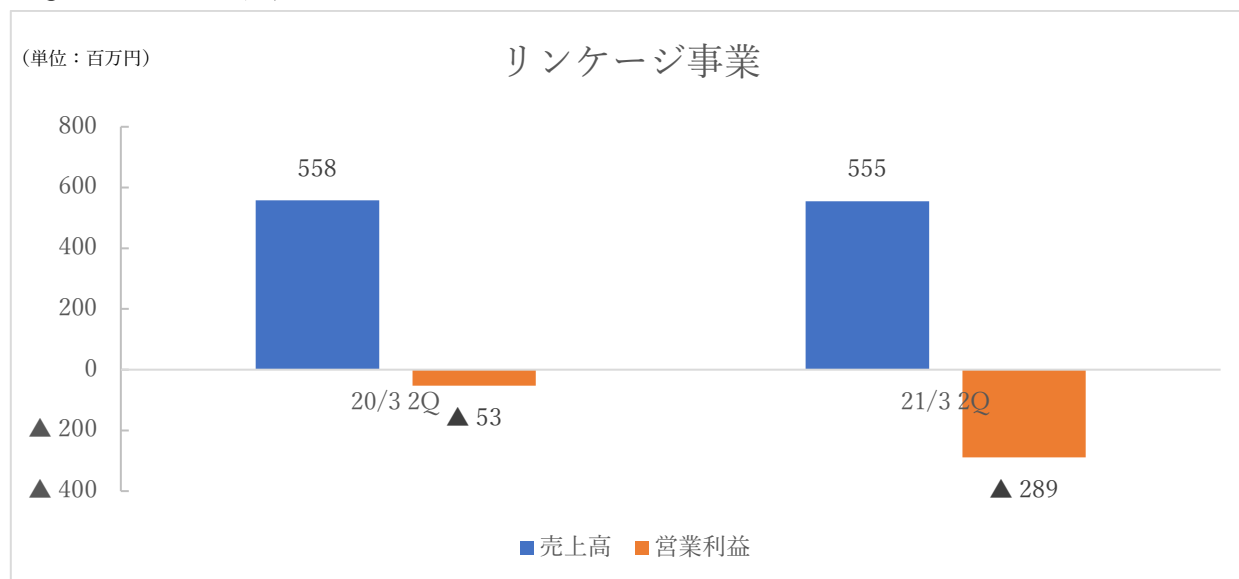
<2019年3月期第2四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の月額利用サービス販売が拡大し、ストック型ビジネスの売上高に占める割合が増加したことによる売上高やや減少（前年同期比 21 百万円減）
- さらなる事業拡大を図るため、製品開発体制の再構築、グローバル展開強化、次世代戦略製品の研究開発及び人材育成等へ事業投資を積極的に実施したことによる利益減少（前年同期比 19 百万円減）

<2018年3月期第2四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守サービス販売が増加したことによる売上高増加（前年同期比 78 百万円増）
- テクニカルサポート体制強化、マーケティング活動推進等により販売費及び一般管理費が増加したことによる営業利益減少（前年同期比 68 百万円減）

② リンケージ事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンケージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021 年 3 月期から「リンケージ事業」として分離独立しています。

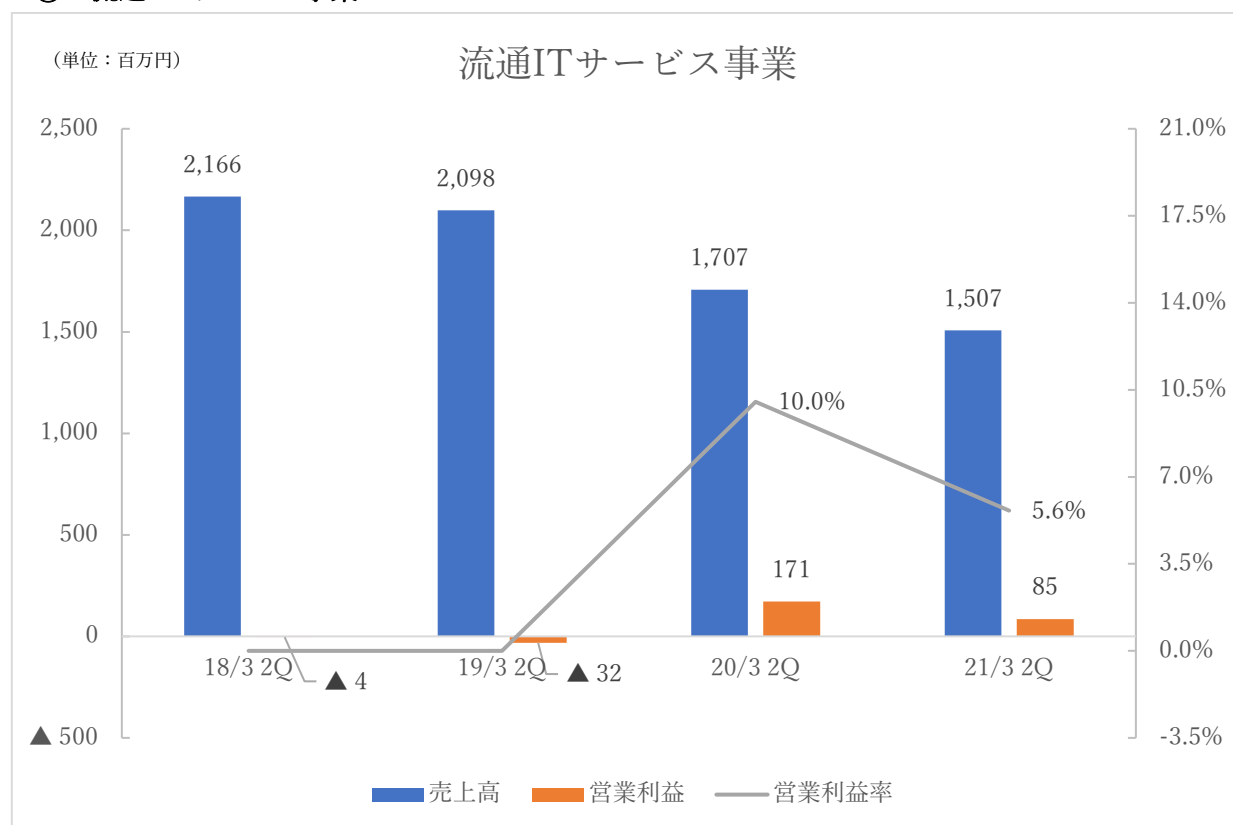
前期以前につきましては、数値の把握が困難なため記載しておりません。

なお、当第 2 四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020 年 3 月期第 2 四半期>

- リンケージサービス案件が順調に増加
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加に伴うコストが増加したことによる営業損失

③ 流通 IT サービス事業



※2020年4月1日付で、流通 IT サービス事業はリンケージビジネスを分離独立しています。20/3 2Q は、リンケージビジネスを分離させた調整後の数値です。

当第2四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第2四半期（流通 IT サービス事業）>

- 事業モデル転換が進み既存領域の案件が減少したことによる売上高減少（前年同期比 390 百万円減）
- 強みを活かせる案件へ限定したことにより利益率が向上（前年同期比 203 百万円増）

<2019年3月期第2四半期（流通 IT サービス事業）>

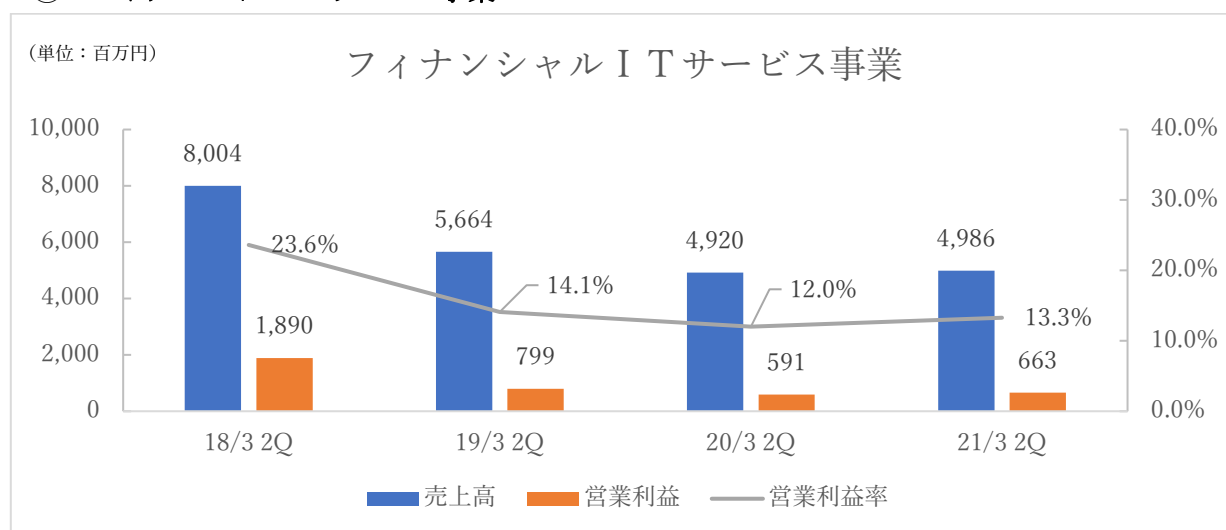
- システム開発中心からサービス提供中心へ事業モデル変革を目指し、システム開発案件を当社の強みを活かせる案件へ限定したことによる売上高減少（前年同期比 68 百万円減）

(注) 2018年4月1日付で「流通・ITソリューション事業」を「流通 IT サービス事業」に名称変更しています。

<2018年3月期第2四半期（流通・ITソリューション事業）>

- 既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高減少（前年同期比 271 百万円減）
- 生産性向上による収益性向上や前期に計上したプロジェクト開発中止に係る損失が収斂したことにより営業利益が改善（前年同期比 246 百万円増）

④ フィナンシャル IT サービス事業



※2020年4月1日付で、Fintechプラットフォーム事業からフィナンシャルITサービス事業へ名称変更しております。

当第2四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第2四半期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 既存領域におけるシステム開発案件が減少したこと等により売上減少（前年同期比744百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比208百万円減）

<2019年3月期第2四半期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 大型システム開発が完了したこと等により売上減少（前年同期比2,340百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上減少及び一時的な高利益率状態の解消により営業利益減少（前年同期比1,090百万円減）

(注) 2018年4月1日付で「カードシステム事業」を「Fintechプラットフォーム事業」に名称変更しています。

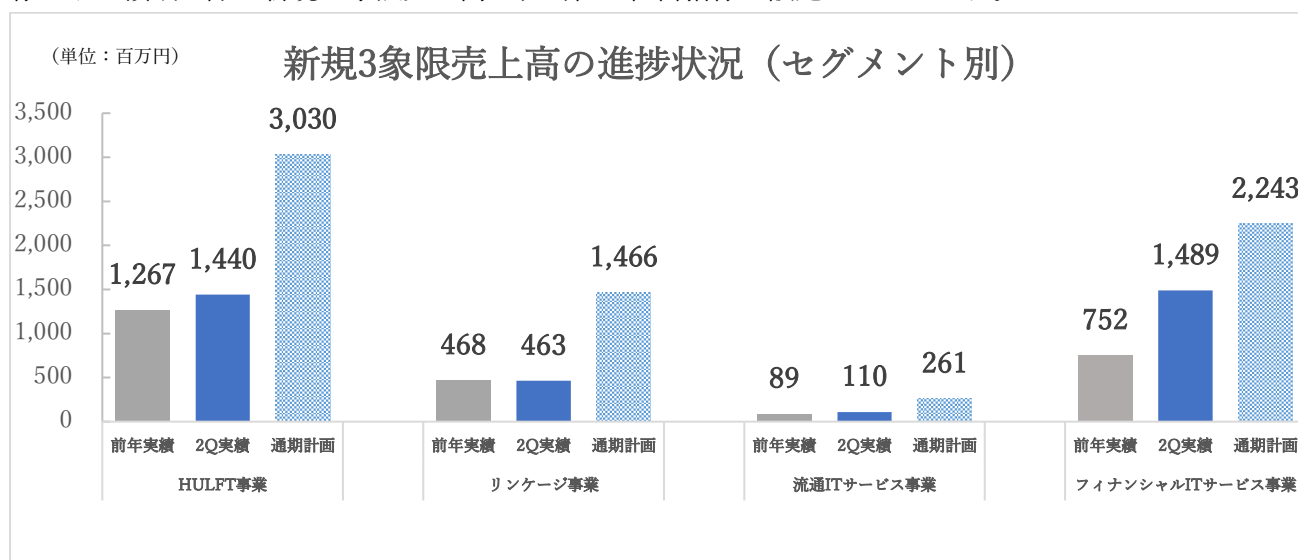
<2018年3月期第2四半期（カードシステム事業）>

- 顧客向けシステム開発及び情報処理サービスが増加したことによる売上高増加（前年同期比145百万円増）
- 大型システム開発に伴う売上増加及び一時的な高利益率状態による営業利益増加（前年同期比826百万円増）

3. 新規 3 領域進捗状況

■事業方針

当社グループは、事業領域の拡大と先端技術を駆使した提案型ビジネスへ事業モデル刷新を実現するため、新技術・新領域への事業領域拡大を経営目標として掲げております。新技術・新領域への事業領域拡大は、事業を 4 つの象限に区分して象限別に進捗管理を実施しています。この 4 つの象限のうち既存のみの領域を除く新規 3 象限売上高は、当社の経営指標に設定しております。



■全社

当連結会計年度の計画において、新規 3 象限売上高計画値は 7,000 百万円としています。当第 2 四半期連結累計期間での実績は 3,505 百万円であり、進捗率は 50.1%となっております。各セグメントの実績は以下のとおりとなっております。

■事業別

HULFT 事業は、通期計画値 3,030 百万円に対して、当連結累計期間での実績は 1,440 百万円であり、進捗率は 47.5%です。

リンケージ事業は、通期計画値 1,466 百万円に対して、当連結累計期間での実績は 463 百万円となり、進捗率は 31.6%です。

流通 IT サービス事業は、通期計画値 261 百万円に対して、当連結累計期間での実績は 110 百万円であり、進捗率は 42.1%です。

フィナンシャル IT サービス事業は、通期計画値 2,243 百万円に対して、当連結累計期間での実績は 1,489 百万円となり、進捗率は 66.4%です。

4. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2020年7月1日～9月30日）

HULFT 陸上部 若林康太選手が柏崎市の功労者賞を受賞

⇒アジア大会等に出場し、上位入賞を果たした実績が評価され、受賞。

- ・2019年 第23回アジア陸上競技選手権大会 4×400mリレー 4走 優勝
- ・2019年 第17回世界陸上競技選手権大会 混合 4×400mリレー 2走 3分18秒77
(日本新記録) など

「2020年度 カスタマーサポート表彰制度」

奨励賞・新型コロナウイルス感染症対策特別賞同時受賞

⇒以下の取組みが評価され受賞につながりました。

- ・「オートコール化」と「SAIMON(クラウド統合監視サービス)」を活用した
IT運用サービスの自動化・最適化。
- ・カスタマーサービスセンターにおける在宅ワークの取組み。

「HULFT-WebConnect Ver.3」を発表

⇒HULFTをインターネット経由でも利用可能にするクラウドサービス

HULFT-WebConnctetの新バージョン「HULFT-WebConnctet Ver.3」を提供開始。

データ連携プラットフォーム「DataSpider Servista」が、7年連続「総合満足度1位」を獲得

⇒デジタル技術の利活用が進展するのに伴い、データ連携ツールに注目が集まる中、

「DataSpider Servista」が7年連続「総合満足度1位」を獲得。

※2020年7月 日経BPコンサルティング「データ連携に関するアンケート調査」

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営推進部 IR担当

Tel：03-6370-2930

URL：<https://home.saison.co.jp/>